

2023/5/15（月）

朝の礼拝

聖書 イザヤ書 2章 4節（旧約聖書1063頁）

主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。  
彼らは剣を打ち直して鋤とし  
槍を打ち直して鎌とする。  
国は国に向かって剣を上げず  
もはや戦うことを学ばない。

平和を諦めるな

人類史で初めて原子核爆弾が広島と長崎に投下されて77年が経ちました。今週末、主要7か国首脳会議（G7）が広島で開催され、被爆国日本は議長国として会議をリードします。現在の日本の首相は広島出身です。世界が平和へのメッセージを待ち望んでいます。

私は高校2年で広島、大学2年で長崎を、その後も幾度か両被爆地を訪れました。両資料館ともリニューアルされていますが、初めて長崎の旧資料館を訪れた時、友人は途中で見学を続けることができませんでした。ぜひ世界中の人が訪れてほしいと願っています。

預言者イザヤの時代、古代イスラエル王国は南北に分裂し、北の国は大国に滅ぼされ、残った南の国も滅亡が迫っていました。残った人びとは近隣の国と力を合わそう、もう一つの大国エジプトの力を借りようなど、何も信じられず右往左往していました。

未来、未知な世界にはビジョン（幻、夢、目的）が必要です。諦めずに信じ、祈り求め続けることです。神は世界の主であり、自ら裁き、すべての民を戒める。武器を棄て、鋤や鎌に打ち直す世界が見える。主の平和を諦めるなど励ましています。

（しばらく黙想しましょう）

真理と平和の源である主よ、すべての人の心に平和を愛するまことの愛を燃やし、国々の交わりに携わる人びとに、平和を造り出す知恵を与え、主の愛を知る知識をこの世界に満たしてください。どうか修養会、English Camp、奈良京都、長崎のスタディーツアー、校外研修の体験を通して、災害、戦争によって苦しむ人々にこころを寄せ、わたしたちを平和の器として成長させてください。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン